

## 職員による自己評価

## 保護者による評価

**A 環境・体制整備**

- ・利用者数が多い場合、スペース的には2階も使用したいが職員数が足りず使用できないことがあり、1階に人があふれていることがある。
- ・1階スペースを居住空間として、子どもたちの所在を確認できるように配慮している。
- ・子どもと職員が1対1にならないような遊びを広げたり、全体を見ることができる場所で見守ったり遊んだりしている。
- ・待機の職員が少ない場合は、子どもの安全第一で過ごしている。
- ・生徒の欠席等があった際、職員の事業所移動等で対応している。
- ・限られた人数配置でできることを考えながら運営にあたっている。

→限られた人員配置の中で、子どもたちの安全第一を最優先しながらの運営を今後も継続して行っていく。

**B 業務改善**

- ・特になし。

→職員間で業務を分担しながら、効率よく業務を遂行していく。その為にも業務の可視化をしっかりと行っていきたい。

**C 適切な支援の提供**

- ・個に応じたプログラムを計画し実践している。
- ・生徒の到着がまだの場合はアルバイトも含めて前日までの振り返りや当日の活動内容の確認が行われている。
- ・19時退勤で職員間での共有の時間を十分に取れない。
- ・サービス提供記録などの業務優先になってしまい、必要な情報の共有はしているが終りができていない。
- ・勤務時間の関係で共有できなかったことは日報や次の日の打ち合わせで時間を区切って行っている。

→業務内容の見直しと簡略化、時間を有効に使って情報の共有ができるようにしていきたい。

**D 関係機関や保護者との連携**

- ・電話等で保護者に対して子育ての提案をしている。

→利用者の中にも不登校児童・生徒が増えてきている。学校との連携を強化していきたい。

**E 保護者への説明責任等**

- ・スマイルだよりや、イベントの紹介プリントの発行、活動記録などで情報の発信を行っている。

→イベント紹介プリントは保護者にも子どもにも好評で、イベントの集客にも効果があった。今後も継続して行っていく。

**F 非常時等の対応**

- ・各種危機管理マニュアルは策定しているが、周知徹底までできていない。

→文書等で周知していく。

**A 環境・体制整備**

- ・Ⅲの中を見たことがないのでわからない。
- ・できれば、送迎を運転する人ともう1人にいてくれると安心。

→安全面で階段に手すりがあった方が良いとの声が子どもたちからも上がっていますので、対応していきます。また、可能な限り送迎を2人体制で行えるように工夫していきます。

**B 適切な支援の提供**

- ・特になし。

→今後も活動プログラムに工夫を凝らして、個に応じた支援を行っていきます。

**C 保護者への説明等**

- ・保護者からの発信に答えてくれるが、日々の様子はハグでしか把握できない。送迎時に一言あるときは、それをもとに子どもと会話できる。
- ・日々の記録ありがたく読ませていただいています。今後、課題やトラブルの内容、その時の解決内容なども書いていただけたらよりわかりやすいと感じます。
- ・今まで面談していないので、支援計画を作る際など面談があったらありがたいです。
- ・他のデイでは定期面談があるのですが、フリースマイルは無いのでしょうか？

→今後、サービス提供記録のみならず今以上に情報の公開・共有を行っていきます。面談、支援計画に関してはご指摘を重く捉え、今後定期的に行っていきます。

**D 非常時等の対応**

- ・天災が起きた場合の引き取り方法を親に教えて欲しいです。

→各種危機管理マニュアルは策定し職員間で共有しています。後は保護者の皆様にも文書等でお知らせしていきます。

**E 満足度**

- ・特になし。

→ほとんどのご家庭が満足しているとの回答をいただきました。今後も子どもたちや保護者の皆様に満足していただける事業所をめざしていきます。

## 事業所内での分析

- ・集団活動では年齢や習熟度別に少人数グループをつくって活動に当たっている。準備等に時間はかかるがスタッフ同士で分担して計画的に行うことができる。今後は非常勤スタッフにも集団活動の立案スキルを身に付けてもらえるよう、人材育成にも力を入れていきたい。
- ・保護者面談や支援計画の作成が滞っており、保護者の皆様にご心配おかけしている。このことはスタッフにも支援の方向性を明確に伝えることができない原因にもなっている。早急に保護者面談と支援計画の作成を行う必要がある。

分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- ・計画的な集団活動の立案と実施。
- ・スタッフ間での「報連相」を徹底している。
- ・イベントの企画運営に力を入れている。

### 事業所の改善点

- ・保護者面談や支援計画の作成が滞っている。
- ・スタッフ個々の業務に偏りがある。
- ・各種危機管理マニュアルの家庭への周知。

### 事業所の改善への取り組み

- ・計画的な保護者面談を行い、支援計画の作成に当たっていく。保護者や子どもたちの困りごとなどをスタッフ間でも共有を図る時間をつくっていき、記録を残していく。
- ・業務内容を可視化することで、個々の負担を平均化していく。得手不得手もあるので、スタッフ間で声を掛け合いながら協力して業務に当たれるような環境を構築していく。
- ・各種危機管理マニュアルに関しては保護者に文書でお知らせしていく。

#### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

アンケートへのご協力ありがとうございました。

フリースマイル横浜港南Ⅲを開所して2年が経過しようとしています。日々の利用者数も10人を超える日が増えて参りました。また、今回のアンケートでは事業所に対して肯定的なご回答が多く、これからも支援の質を向上していけるようにスタッフ一同、知恵を絞っていく所存です。保護者面談や支援計画の作成の面で保護者の皆様にはご心配、ご迷惑をおかけしており申し訳ありません。早急に取り組んで参ります。

放課後、「ただいま！」と元気な声で子どもたちが帰ってきます。スタッフみんなで「お帰りなさい！」と迎え入れています。日常の何気ないやり取りですが、とても温かい瞬間です。子どもたちには「フリースマイル楽しい！」と言ってもらえる。ご家族の皆様には「預けてよかった」と言ってもらえる事業所を築いていきます。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

事業所名 フリースマイル横浜港南Ⅲ

担当者 麻生 伸幸